

2026年カレンダー デスク用 厚紙に印刷 はさみ カッターナイフ 穴あけの道具 ポンドかのり わりピン 青色部分ははしまで使う

毎日1回まわすことで今日を大切にできます

A 裏面

立てるときは、⑦の部分を谷おりして直角におこして、次に⑧の部分を谷おりしておこして⑨が固定するようにする。

立てる部分

太い黒線をカッターナイフで切る

点線で谷おりする

吊り下げるときにつかう部品
机に立てるときはいろいろな
組み立てが終わったら
のりをつけて A の⑦の
部分にはる

E

A 表面

⑦

2026年 令和8年

この灰色部分は
カッターで
切り取る

青色部分ははしまで使う
印刷すると用紙の
端まで線が印刷されないので
切るときに気をつけてね

----- 山おり
----- 谷おり

B

C

D

図①

図②

A 表→B C D→A 裏

鋭剤のシート

わりピンがないとき
つまようじや竹串を軸に使う

家庭にある身近なものでつくれます。
薄いプラスチックや厚紙（葉を買った
時の鋭剤のシート ストロー
紙箱 ダンボール ハガキなど）を
小さく切ったのを2つ作り穴をあける。
1つを図①のようにつまようじに通し、
カレンダー部品 A 表→B→C→D→A 裏の順に
をつまようじに通す。
最後に図②のように2つめの部品を
つまようじにさして、カレンダーが
回るようにする。
つまようじの余りを切りとる。